自治体 しがの仲間
発行責任者 滋賀県自治体労働組合総連合（滋賀自治労連）委員長 杉本 高
〒520-0051 滋賀県大津市梅林1丁目3番30号 電話077-527-5511/FAX 077-527-5522
2023年10月　No. 345

住民の幸せと自分の幸せを重ね合わせて公共を取り戻そう！

滋賀自治労連 第60回定期大会

滋賀自治労連は９月23日、第60回定期大会を開催し、２０２３年度の新役員体制と運動方針を確立しました。実に４年ぶりの完全リアル開催に、各単組・部会から多くの仲間が参加・交流しました。以下、討論の一部（概要）を紹介します。

公務員としての誇りと働きがいを取り戻す

大津市は最高号給が低く抑えられた給料表のため、試験を受けて昇任しなければ早々に昇給が止まる人事給与制度が続いている。子育て世代を中心にモチベーションが低下し、係長級・主任級が辞めていく。市労連は、国や県並みに給料表を戻すよう粘り強く交渉を重ねてきた。当局は給料表を戻す条件として「転換号給」という法的根拠のない独自の制度を新たに提案し、標準で４号の昇給を２号に圧縮する姿勢を頑なに崩さない。職員のモチベーション上がらなければ結果として市民サービスが低下してしまう。私たちは良い仕事がしたい。公務員としてのやりがいを取り戻すため奮闘する。

大津市労連　前川　ひろ美さん

6町連帯での地域手当の運動方針はとても心強い

当町では近年、職員年齢層のいびつさから、管理職への早過ぎる任用が生じており、その職務の大変さから、「あのような未来に希望を持てない働き方はしたくない」と、若い世代を中心に深刻な不安が広がっている。労働組合として、しっかりと声をあげていかなければならない。

給与制度等のアップデートの議論では、滋賀自治労連が地域手当に関して6町で連帯した運動方針を立てていただいていることをとても心強く感じている。職員が仕事の誇りとやりがい、希望を持てる未来を堂々と語り合える職場、持続可能な地域をみんなで一緒に創っていくために奮闘したい。

日野町職員労働組合　吉田　拓哉さん

青年部の役割はつながりをつくること

何度も延期や変更を余儀なくされた青プロを、昨年12月にようやく開催することができた。近畿２府４県の各会場や他府県の仲間はオンラインでつながる形であったが、滋賀の参加者はリアルで一堂に集まり、交流を深めることができた。やはりリアルでの情報交換が何より大切で、さりげない雑談が持つ力も非常に大きい。青年部の役割は、つながりをつくることだと実感した。これからもこの経験をいかして、青年部活動や組合運動を頑張りたい。

青年部　田村　義朗さん

閉塞感を打ち破る人員増と賃上げこそ

5月８日以降は、職場も組合活動も少しずつコロナ禍のダメージから回復してきているが、職場全体が人手不足や物価高に見合わない低い賃金などの影響もあり、まだまだ閉塞感に覆われている。人事評価制度についても、「本当に公正公平な評価ができているのか」と組合員から不安の声も届いている。また、定員管理計画の見直しについて、当局から「増やしていく」との回答を得たので、進捗を見守りたい。

栗東市職員組合　山形　圭奈子さん

もっとみんなが働きやすい職場にしていきたい

職場では人員不足が深刻で、なかなか新しい組合加入者も広がらない。組合員を増やし、もっとみんなが働きやすい職場にしていきたいという思いから、インフルエンザの予防接種の半額補助を組合で始めたところ加入が広がった。これからも希望や要望を職場懇談やアンケートで汲み取り、現場の声をダイレクトに当局に届けられるよう組合活動を見直していきたい。会計年度任用職員の評価シートも複雑すぎるという声も多数届いている。滋賀県のシートなども参考に簡素化を求めていきたい。

豊郷町職員労働組合　小杉　恭也さん

団結ガンバロー（守山駅前コミュニティホール）

自分一人のことではなく環境を変えていきたい

県の公文書館（前身の県政史料室を含む）で、週10時間勤務の非常勤職員として31年間働いてきた。組合で粘り強い交渉を重ねることで、専門職として扱われるようになり、報酬月額も約13万円から19万円まで増やすことができた。２０２０年度には会計年度任用職員連絡会を結成し、会長に就いて交渉を続けてきたが、今年度から県史編さんにともなう人員強化が実現し、公文書管理の常勤（正規）専門職員として採用された。ようやく自身は安定した身分が保障されたが、「アーキビスト」とよばれる公文書館専門職員の多くは、会計年度任用職員として働いている。働く仲間の環境を変えるために、引き続きアーキビストの地位向上を訴えていきたい。

滋賀県職員組合　大月　英雄さん

新年度役員体制

執行委員長	杉本	高	滋賀県職員組合
副執行委員長	林	秀一	自治労連近江八幡市職員組合
〃	山添	和敏	日野町職員労働組合
〃	江口	辰之	大津市職員労働組合連合会
〃	小杉	恭也	豊郷町職員労働組合
書記長	波川	尚志	豊郷町職員労働組合
書記次長	小川	治彦	大津市職員労働組合連合会
財政部長	児玉	崇	滋賀県職員組合
執行委員	谷田	誠	滋賀県職員組合
〃	髙田	智行	大津市職員労働組合連合会
〃	辻田	秀樹	日野町職員労働組合
〃	山形	圭奈子	栗東市職員組合
〃	河合	貫至	栗東市職員組合
〃	東	勉	自治労連近江八幡市職員組合
〃	佐伯	英樹	滋賀公務公共管理職ユニオン
〃女性部	各部会の選出による		
〃現業評	山下	邦雄	大津市職員労働組合連合会
〃青年部	各部会の選出による		
会計監事	宇田	むつみ	大津市職員労働組合連合会
〃	坂田	直子	日野町職員労働組合
〃	寺﨑	名津子	自治労連近江八幡市職員組合

知っとコラム　「公務員人事管理のアップグレード」って何ですか？

川本裕子人事院総裁は、８月７日に行った人事院勧告・報告に際して総裁談話を発表し、その中で「公務を取り巻く情勢が変化を続け、不確実性を増していく時代に、従来の延長線上にある考え方では公務員人事管理の課題に対する解を見いだすことは困難」「将来にわたって優秀な人材を公務組織に惹きつけるため、人材マネジメントのグランドデザインを構築することが急務」として、「各界有識者による会議を設置し、その議論・提言を踏まえながら、公務員人事管理の抜本的なアップグレードを実行」するとしました。

人事管理に関する報告では、「公務人材の確保は、今、危機的な状況に直面している」という課題認識のもとで、その解決に向けての方向性を示していますが、効果に疑問を持たざるを得ない内容がいくつも並んでいます。

多様で有為な人材確保のための取り組み？

新卒採用が困難であることから、経験者採用に向けた取り組みを行うとしていますが、そもそも国籍要件が課された国家公務員では外国人材の活用が不可能であり、民間企業も同様の人材不足を抱えている中で、外部人材からの確保だけではとても問題解決にはならないと考えられます。

一方で「非常勤職員の人材確保も厳しさを増している」として、「制度の適切な運用の在り方等について検討を行っていく」とし、３年公募の見直しなどを検討するようですが、予算の都合で翌年度突然職を失うような制度を残したままでは、人材確保など絵に描いた餅ではないでしょうか。

自治労連は一貫して「均等待遇に基づく任期の定めのない短時間職員制度の確立」を求めており、育児や介護などでフルタイム勤務できない方にも、任期の定めのない職員（＝正規職員）として短時間勤務できる制度を求めています。

多様なワークスタイル実現？

フレックスタイム制（？）を見直し、育児または介護を行う職員に限定していた週４日勤務を他の職員にも拡大します。週当たりの勤務時間は３８時間４５分のままですので、他の日に７時間４５分を超えて勤務し、週に１日だけは勤務時間を割り振らない日を設けることができるようにします。勤務時間法の改正が必要なため、法改正の勧告を併せて行っています。

また、県内の多くの自治体で実施済ですが、夏期休暇の使用期間を６月から１０月に延長します。

併せて、交代制勤務の職員に限って１５分単位での年次有給休暇の取得を可能とします。病院などを中心に２交替夜勤が多く導入されており、１勤務の勤務時間が７時間４５分の倍数となっておらず、15 分や 45 分といった端数の勤務時間を割り振られた日に、実際に休むためには１時間単位に切り上げて年次休暇を取得する必要があるためです。

公務の魅力とは何だろう？

７月 26 日の中央行動で、総務省への署名提出の際、採用 2 年目の組合員が『私は観光振興の仕事をしています。もっと地元を盛り上げたいと考えています。時間があればもっと住民に喜んでもらえる新しい企画にも挑戦したいのですが、現状では前例踏襲とならざるを得ません。人員が確保されたら、地域振興のためにもっと頑張れます。』と発言しました。この言葉にこそ、いま取り戻すべき公務の魅力が詰まっていると思います。この想いを実現することこそが本当の「公務員人事管理の抜本的なアップグレード」ではないでしょうか。

滋賀県労連と共同で滋賀県人事委員会へ要請

10月3日、滋賀自治労連は滋賀県労連と共同で滋賀県人事委員会事務局へ要請を行いました。参加は滋賀県労連より高岡議長、山元事務局長、滋賀自治労連より杉本委員長、波川書記長で、人事委員会は三橋事務局長らが対応しました。

滋賀自治労連は、人事院勧告を絶対視することなく、労働者の暮らしを擁護すべき第三者機関として、また公務員賃金の社会的影響力も考慮し、県職員の要求に基づく積極的な賃金改善勧告により、すべての県職員の生活改善を図ること。労働関係諸法令と職員の健康が守られるよう、業務量に見合う人員が配置されるよう大幅な定数増をもとめることなどを求めました。滋賀県労連からは、民間労働者等への波及など県勧告が与える影響力も十分に考慮し、物価高騰に見合う大幅な改定を行うよう求めました。

県立小児保健医療センターの病床削減反対！ 2ヶ月で5,725筆の切実な声

こどもの命を守る県立病院の機能後退ゆるさない

「滋賀民報提供」

2025年に滋賀県立総合病院との統合が計画されている県立小児保健医療センターでは、水面下で病床数の大幅な削減が狙われています。病院事業庁は現在100床あるベッドについて、少子化や稼働率が60%程度であることを理由に、60床程度に減らすことを「適正化」としていますが、そもそもここ2～3年の稼働率の推移は、コロナ禍の影響で受診控えや受入抑制（40床がコロナ専用化）などが起こっていた時期でもあることから平時の稼働率として考慮するには無理があること、また仮に第2、第3のパンデミック等が生じた際にギリギリの60床まで減らしてしまうと余力がなくなり緊急時の対応が出来なくなる懸念、さらには「病床は余っている」としながら、患者家族らの証言によると実際にはレスパイト入院（休息を主たる目的とした短期入院）の対応がくじ引きとなっていること等々の問題があるため、県民の間に次第に不安や疑念が広がっています。

滋賀自治労連は、この間、県立病院の未来を考える会に結集し、広く市民や患者家族のみなさんとも共同し、病床数削減反対署名などに取り組んできました。9月14日の1次集約には3,882筆を、10月16日の最終集約では1,843筆を追加提出し、累計5,725筆を知事秘書課に提出して計画の見直しを求めました。

今後、会では署名の第2弾に取り組むとともにシンポジウムなども開催し、県が示している「第五次滋賀県立病院中期計画の改定に係る骨子案」の問題性を広く県民に知らしめ、いずれ公募されるであろうパブリックコメントへの参加を呼び掛けるなど運動を広めます。

第34回滋賀県自治体軟式野球大会 栗東市職 優勝！

10月14日、滋賀県自治体労働組合共闘会議（滋賀自治体共闘）は第34回滋賀県軟式野球大会を開催。参加した各チームは日頃の練習の成果を競い合い、親睦と交流を図りました。決勝戦は白熱した試合展開で延長戦（タイブレーク）までもつれ込み、2点差で逃げ切りを狙う草津市労連に対し、栗東市職が土壇場で追い付き、最後は逆転サヨナラで勝利しました。優勝は栗東市職、準優勝は草津市労連でした。優勝した栗東市職は、滋賀代表として11月25日の近畿大会に出場します。手に汗握る好ゲームを演じてくれた選手と関係者のみなさまに心から感謝します。

みんなの声

◎あまりにも体が凝り固まっており、数日前から就寝前のストレッチを始めました。何事も三日坊主の私が、続けられるかわかりませんが、「21日間継続したことは習慣化する」という法則があると聞き、とりあえず少しでも続けてやってみたいと思います。
N・S　日野町職労

◎毎年、夏は暑いものですが今年は特に暑いです…夏と言えば自分が子どもの頃は虫捕り、プールと遊んだものですが、今の子どもたちは夏の昼間はなるべく家の中にいるとのこと。なんだかちょっと悲しい…
A・Y　滋賀県職

◎ガソリン代の高騰が車通勤者にとって影響が大きいです。通勤手当見直して欲しい！
K・S　大津市労連

◎お昼休みに職場の先輩とランチに行きました。仕事と子育てに慌ただしい毎日ですが、ホッとひといき落ち着く時間でした。
K・S　日野町職労

◎世代交代が著しく、仕事の内容や仕方が受け継がれていくのか心配です。
H・U　滋賀県職

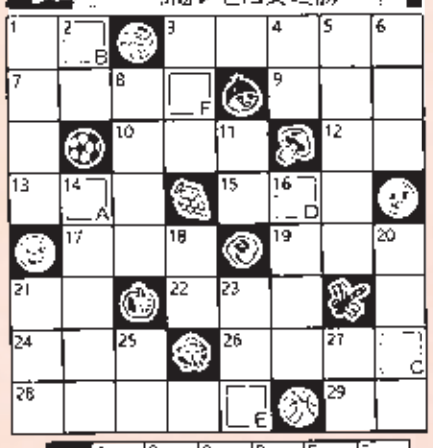
言ーたい劇場

小菅りや子

▶ WEBで簡単応募ができます

ザクロスワード

川柳▶モロズミ勝



【タテのカギ】
1 シカ科ではなくウシ科の動物です
2 夏目漱石の前期三部作の一つ
3 記号。シンボル……
4 人形にもなる秋の花
5 子どもも大人も楽しい娯楽施設です
6 留守の家を狙います
8 首都はハバナ
11 マンタは……の仲間
14 体操競技などで使うスポーツウエア
16 兼六園や偕楽園など仏教僧侶がまとう衣装
18 音符を書き込みます
20 紙を切り抜いて作る
21 霧が濃くて……ゼロ
23 ……金、……違い
25 代表的な出世魚です
27 ……

【ヨコのカギ】
1 ネギを背負って来ます
3 爪がきれいですね
7 小ぶりな……バナナ
9 その場の雰囲気。張り詰めた……
10 進んでいく先
12 硫黄の元素記号は？
13 ドーバー海峡をフランスでは……海峡という
15 工場がA町からB町に……しました
17 怖いです。……屋敷
19 ……一会の出会い
21 ……国、……風
22 新聞小説のイラスト
24 レンタルより長期です
26 古い中国の文語体の文
28 幕藩体制の時代でした
29 借金時に支払う対価

【問題】A～Fを並べてできる言葉は？

答 A A C D E F

（一次締切）10月31日（火）
（二次締切）11月15日（水）

正解者の中から抽選で図書カードを進呈。（一次締切日を過ぎて郵送された方にも当選権あり。二次締切当選者は翌々月号に発表）

前号の答え「①右から2番目の人の髪②右端の人の左袖③右下の花④左下の葉⑤杖の長さ⑥左上のトンボの尾⑦左から2番目の人のズボン」

《343号（二次締切）当選者3名》
門野　久昭様（滋賀県職）
臼井　茉理子様（滋賀県職）
江口　好美様（大津市労連）

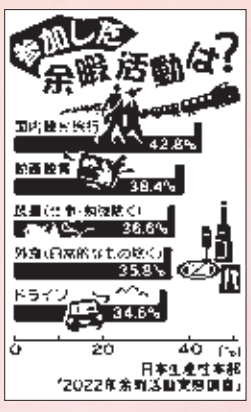
《344号（二次締切）当選者3名》
東浦　光紀様（滋賀県職）
北田　淳士様（大津市労連）
荻野　真美子様（大津市労連）

WEB・ハガキ又はFAXで。答え、住所、氏名、単組名、職場のできごと、話題、家族のたよりなど、ひとことお書きください。（匿名不可）

【送り先】
〒520-0051
大津市梅林一丁目3-30
こうぜんビル1F　滋賀県自治体労働組合総連合
FAX 077(527)5522

くらしと統計

余暇　国内観光旅行が1位復帰



2022年に行った余暇活動は、「国内観光旅行」がコロナ禍前以来の1位に復帰。今年2～3月、全国の15～79歳の男女3,036人から回答を得ました。

「国内観光旅行」はコロナ禍前の19年までは余暇活動として毎年1位でしたが、外出を控える人が多かった20～21年は「動画観賞」や「読書」「音楽鑑賞」が取って代わりました。22年は制限があったものの余暇活動は徐々に外向きに変化。「旅行」はまだ以前の水準には戻っていませんが、前年より10ポイント増えました。「ドライブ」「外食」も増えるなど、外出を伴う余暇活動がいよいよ復活しそうです。併せて「仕事と余暇のどちらを重視するか」を聞いたところ、63.9%が余暇を重視すると回答しました。